

認知症ケアパスとは

認知症に限らず、病気の診断を受けることは本人、家族にとってつらい経験です。しかし、同じような経験をしている仲間と出会うことや、早い段階で準備・対応することが、その後の生活に良い経験を与えるといわれています。

認知症の場合、

①本人・周囲が違和感を感じてから診断を受けるまでの期間

②認知症の診断を受けてから介護保険サービスの利用までの期間

の2つの「空白の期間」があるといわれており、特に診断直後は今後の生活に対する不安や心配が大きく、社会的な孤立やうつ状態となる懸念もあります。

認知症ケアパスは、そういった「今後の生活に対する不安や心配」を持つ認知症とともに生きる方、そしてその家族に対し、

①不安や心配に対する相談先や、仲間と出会える場の情報提供

②認知症とともに希望を持って暮らし続けるための支援やサービスの紹介

の際に用いられるものです。

今回作成予定の認知症ケアパスについて

A4 サイズ 20ページ

対象者 認知症の人、認知症の人の家族 など

発行時期 令和7年2月予定

「認知症と診断された人」や「認知症の疑いのある人」が認知症の診断後、何かしらのサービス・支援につながるまでの間である「空白の期間」に活用することができるよう、市、地域包括支援センターなどの相談窓口や医療機関での配布、市ウェブサイトへの掲載を予定しています。

認知症ケアパスに掲載すべき情報は？

（参考）全国の認知症ケアパスの傾向

- ①社会資源の整理表 ②認知症の人の声 ③日常生活の工夫に関する情報
- ④認知症の人の希望や意思を記す欄/ページ
- ⑤認知症の人の意思決定支援に関する情報
- ⑥認知症に関する説明（種類、症状等） ⑦認知症の人への関わり方の紹介
- ⑧相談先一覧 ⑨介護・医療・福祉等のサービス一覧
- ⑩認知症の予防に関する情報
- ⑪認知症サポーター、ボランティア等、企業や地域住民が取り組む活動の紹介
- ⑫認知症チェックリスト ⑬診断後支援に関する情報 ⑭その他

認知症ケアパスに掲載する情報には、「全国共通の情報」と「自治体オリジナルの情報」があります。

（全国共通の情報）

- ⑥⑦認知症の基礎情報 ③日常生活の工夫 ⑤意思決定支援に関する情報 等

（自治体オリジナルの情報）

- ①社会資源の整理表 ⑧相談連絡先 ⑪地域の活動 等

全国の認知症ケアパスの特徴

仙台市

仙台市の認知症ケアパスは、「これからの暮らし」に焦点を当てた構成となっており、認知症の人たちの生活に直結する情報と共に、認知症の人や家族の声を掲載しています。

京都市

令和 3 年 2 月に改訂した認知症ガイドブックの表紙と裏表紙には、若年性認知症の人が撮影した写真が掲載されています。

愛知県豊橋市

認知症の人の声を認知症ケアパス内で紹介しています。

福岡県久留米市

早期対応の重要性について紹介しています。

長崎県佐世保市

若年性認知症について 2 ページにわたり情報を掲載しています。